

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉援助実習指導 I (C) (2 単位)	3. 科目番号	SCMP2183
2. 授業担当教員	三野 宏治		
4. 授業形態	講義、演習、討論	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>精神保健福祉援助実習指導 I、II、IIIは2年時～3年時にかけて、連続して、かつ各実習と並行して、実習事前の準備、実習中の指導、及び実習事後学習を行うようになっている。</p> <p>精神保健福祉援助実習指導 I が終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習の意義について理解する。 2) 個人の資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 3) 実習施設・機関の概要及びその地域について理解し、明瞭な説明ができる。 4) 日本における精神保健福祉の現状を理解し、実習先でかかわる精神障害者への理解を深めるため、他の講義で学んだ基礎知識を総括的に確認する。 5) 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的義務について理解し、実習においてそれらに基づく実践ができる基礎を身につける。 6) 事前訪問に向けて準備を整え、事前訪問を実施する。 		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 精神保健福祉援助実習の意義について理解する。 ② 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 ③ 精神保健福祉援助実習に係る個別指導および集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。 ④ 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ⑤ 具体的な体験や援助活動を、専門的知識および技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>第1回目において、以下の内容について、具体的な提出物等の指示を出す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神保健福祉に関わる知識の確認 (実習コンピテンス確認テストに向けて基礎知識の確認) 2 自己の実習に対する動機、目標 3 配属された実習施設・機関の概要を調べレポートにまとめる (2000～4000字) <p>* 予習課題や探求的な課題を積極的に取り組み、主体的、対話型の学習によって理解を確実にすると共に問題解決力を培うように努めること。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集 『精神保健福祉士養成セミナー 第8巻 第6版 精神保健福祉援助実習指導・現場実習』へるす出版、2017。 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士 実習の手引き』※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士 学習の手引き』※講義にて配布</p> <p>【参考書】 精神保健福祉白書編集委員会編集『精神保健福祉白書 2017年版』 中央法規。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習に向けての基礎知識が確認できている。 2. 実習に向けての自己の動機を言語化できる。 3. 基本的マナー、態度 (敬語の使い方、提出期限を守る等) 行える。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中に課されるレポート 40% 2. 実習配属に伴う提出物 20% 3. 授業への積極的参加態度 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	この授業は実習に直結しています。この授業期間中に、実習先の配属が決定し、具体的に実習に向けての学習がスタートします。積極的な授業参加を期待します。		
13. オフィスアワー	後日通知します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉援助実習指導 I のねらい、授業の進め方についての説明 ・実習の流れの理解と実習に関する基本的ルールの確認 (「実習の手引き使用」) 	事前学習	精神保健福祉援助実習指導の教科書を購入する
		事後学習	実習の手引きの実習の流れを再確認し、実習の時期、日程等理解する
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職養成における実習の意義を理解する ：精神保健福祉士を目指すうえで、実習がなぜ大切なのか、また実習で何を学ぶべきなのか理解を深める ・専門職としての記録の意義を復習し、実習中の記録の書き方を学ぶ ：以後実習記録の練習を授業内で行う 	事前学習	テキスト第1章「精神保健福祉援助実習の意義と特徴」・第2章「実習の学習内容と基本的な流れ」を熟読する
		事後学習	授業で学んだことを受け、自己にとっての実習に行く意義について学習ノートにまとめる
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士を目指している自己の動機に対する理解を深める ：実習の意義と同時に、個人が持っている資格取得に対する動機を自己の中で明確にするとともに、他人に対して説明できるようにする 	事前学習	自分の資格取得動機を説明できるように準備する
		事後学習	授業を受け再度自己の資格取得動機について考える。自己の実習の動機を学習ノートにまとめる

第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習の意義について理解する ：事前学習で学ぶべきことを把握するとともに、その意義を理解する ：実習コンピテンス確認テストについての説明 精神保健福祉に関する基礎知識の確認① <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する ：日本の精神保健福祉の歴史、精神保健福祉の現状、精神障害者が抱える困難性について考える 	事前学習	テキスト第3章Ⅲ「事前学習の意義と目的」を熟読する 精神保健福祉の歴史、精神科医療の現状についてレポートにまとめる
		事後学習	精神障害者のおかれている現状について考えたことをまとめる
第5回	精神保健福祉に関する基礎知識の確認② <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の理解 ：主な精神疾患についての基礎知識を確認する 精神保健福祉に関する基礎知識の確認③ <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉に関する制度の理解 ：精神保健福祉士として必要となる制度についての知識を確認する 	事前学習	与えられたテーマについてレポートにまとめる
		事後学習	授業を受けてレポートに足りなかった点をまとめる
第6回	精神保健福祉に関する基礎知識の確認④ <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉に関する技術の理解 ：面接の基本姿勢、面接技術などソーシャルワーカーとして必要になる基礎的技術について確認 精神保健福祉に関する基礎知識の確認⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉に関する職業倫理と法的責務の確認 ：精神保健福祉士法、倫理綱領について、実習に結びつけて理解 	事前学習	与えられたテーマについてレポートにまとめる
		事後学習	授業を受けてレポートに足りなかった点をまとめる
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先を理解する ：実習が可能な施設・機関の紹介と説明（「実習の手引き」使用） ：実習先を理解する意義と理解すべき内容を把握 ※第7回～第10回において、可能な場合は、外部機関の見学や外部講師を招いての授業を実施し、実習先理解を深める	事前学習	テキスト第8章「実習施設・機関の概要」を熟読する
		事後学習	実習可能な施設について確認する
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習施設・機関の基本的理解 ：グループによる発表 医療機関 〈精神科病院／総合病院精神科／精神科診療所／精神科デイケア施設／アルコール専門病棟／認知症病棟〉 	事前学習	グループで発表の準備をする テキスト第9章Ⅰ「精神科病院」、Ⅱ「精神科診療所」、Ⅳ「精神保健医療福祉における多職種連携とチームアプローチの実際」を熟読する
		事後学習	発表の内容をまとめる
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習施設・機関の基本的理解 ：グループによる発表 障害者総合支援法に規定されている施設 〈共同生活援助／相談支援事業・地域活動支援センター／就労継続支援A型／就労継続支援B型／就労移行支援事業所〉 	事前学習	グループで発表の準備をする テキスト第9章Ⅲ「障害福祉サービス事業所」を熟読する テキスト第9章Ⅶ「地域社会の中の実習施設・機関とアウトリーチ、地域ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発」を熟読する
		事後学習	発表の内容をまとめる
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習施設・機関の基本的理解 ：グループによる発表 行政 〈精神保健福祉センター／保健所／市町村保健センター〉 ：実習施設・機関の理解に対するまとめ ・実習コンピテンス（自己覚知を深める） ：セルフアセスメントの実施 	事前学習	グループで発表の準備をする
		事後学習	発表の内容をまとめる
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先の配属 ：配属先実習施設・機関に関する情報収集 ：誓約書・個人調書等書類作成の意味の理解と作成（自己の実習目標を明文化する） 	事前学習	実習施設についてまとめた内容を振り返る
		事後学習	個人調書作成
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・配属先実習施設・機関に対する理解を深める ：配属先実習施設・機関の利用者理解と援助方法 ：配属先実習施設・機関に関する情報収集 ：誓約書・個人調書等書類作成の意味の理解と作成（自己の実習目標を明文化する） 	事前学習	配属先についてホームページ等を用いて情報を収集する
		事後学習	個人調書の書き直し、清書
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・配属先実習施設・機関に関する理解 ：実習施設の概要をまとめる ・事前訪問に向けた準備 ：事前訪問の目的と意義の確認 ：基本的態度と訪問時の注意事項の確認 	事前学習	配属先についてさらに情報を収集する テキスト第3章ⅤA「見学実習・現場体験学習」第5章「配属実習」を熟読する
		事後学習	見学実習の目的と意義をまとめる
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・配属先実習施設・機関に関する理解 ：実習施設の概要をまとめる ・事前訪問に向けた準備 ：事前訪問の目的と意義の確認 ：基本的態度と訪問時の注意事項の確認 	事前学習	実習施設の概要をまとめる 見学実習で確認したいことを書き出す
		事後学習	見学実習の注意事項を振り返る 実習先に見学実習の確認、挨拶の連絡をする
第15回	<ul style="list-style-type: none"> ・事前訪問の総括 ・学習のまとめ ・精神保健福祉援助実習指導Ⅱに向けた課題 	事前学習	見学実習報告書を作成する 見学実習に対するお礼状を書く
		事後学習	精神保健福祉援助実習指導Ⅰで学んだことを振り返る

備考：実習に関する主な事項と授業回数との関連

実習/実習コンピテンス関連事項	時期	授業回数との関連 *おおよその目安、変動あり
実習配属に関する 個別面談実施	10月下旬ごろ から	第2回～第3回あたり
施設実習配属発表	12月	第8回～第9回あたり*個人調書の作成
セルフアセスメント第1回の実施		授業後半で実施
「実習施設・機関の調査」 レポート提出	1月	配属先発表後
実習コンピテンス確認テストⅠの 問題配布	1月	第15回目の授業 (春休み中に予習する)
事前訪問第1回目の実施	2月	学生各自日程調整して実施